

葛城市の公共交通に関するアンケート調査 集計結果

1. 調査概要

1.1. 調査目的

葛城市の地域公共交通のターゲットとする葛城市民（高齢者等の交通弱者）の移動実態、現在の地域公共交通の利用状況の把握、潜在的なニーズ等を把握するために、アンケート調査を実施する。

1.2. 調査方法

- ・配布及び回収方法：郵送配布・郵送回収
- ・回収先：葛城市役所企画政策課宛

1.3. 調査時期

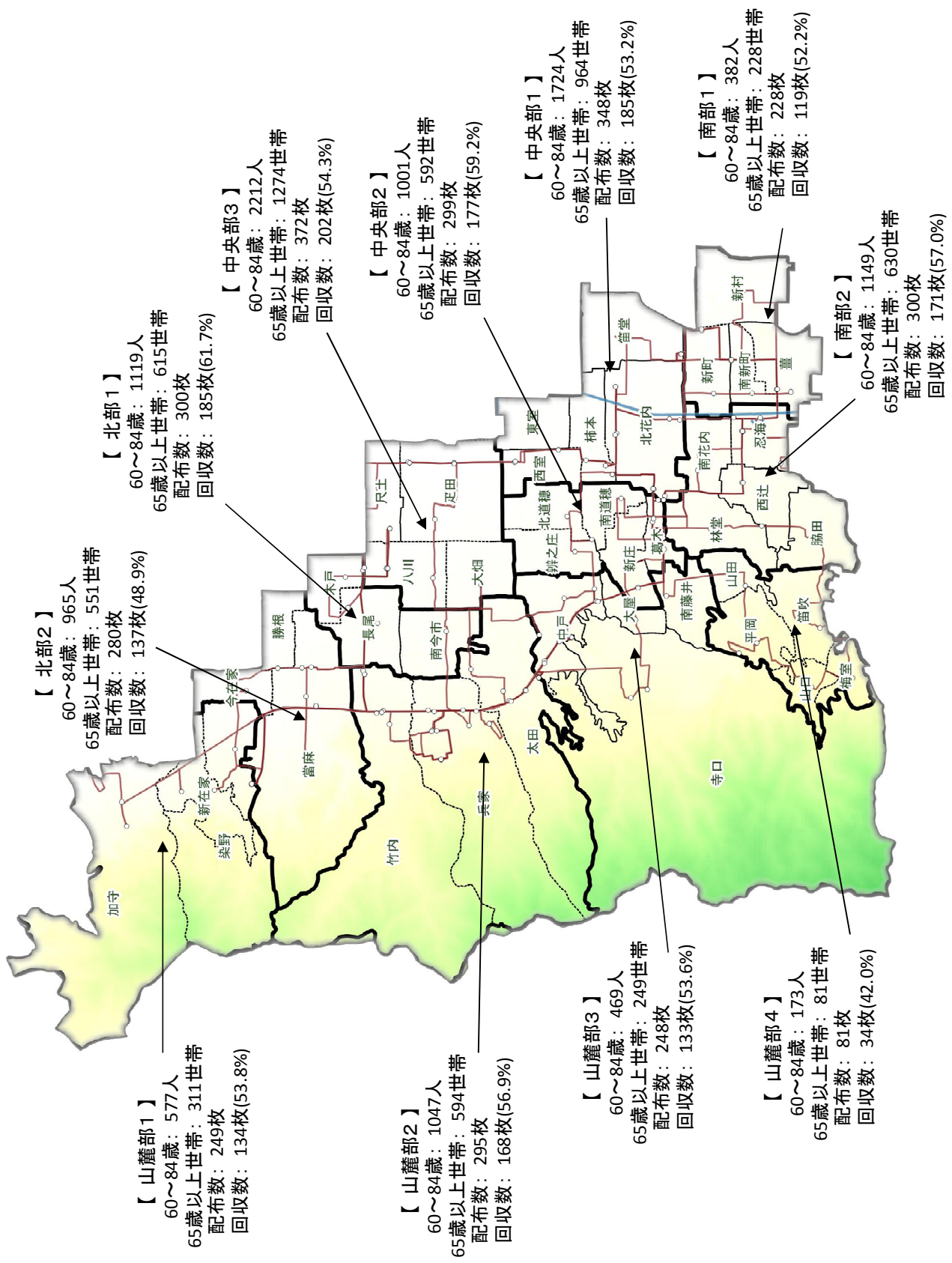
- ・配布時期：9月14日（金）発送
- ・回収時期：9月30日（日）（調査票配布時期から2～3週間後）

1.4. 調査対象及び配布数

- ・調査対象：葛城市にお住まいの60歳～84歳の方（住民基本台帳から無作為抽出）
- ・配布数：3000世帯に配布（1世帯あたり調査票を2部封入）
- ・回収数：1648世帯（2459票）
- ・回収率：54.9% ※10月16日時点
（地区別の回収数等は次ページに掲載）

1.5. 配布物

配布物	仕様	備考
案内状	A4用紙両面・白黒印刷2ページ	
アンケート調査票	A4用紙両面・白黒印刷8ページ	2部封入
配布用封筒	角2クラフト封筒	
返信用封筒	長3クラフト封筒	



1.6. 調査内容

設問番号	分類	項目
問1	個人属性	①性別 ②年齢 ③職業 ④公共交通利用時の付き添いや介助の有無
問2	お住まいや世帯の状況	①大字 ②世帯構成 ③自動車等保有台数
問3	自動車の運転について	①自動車運転免許証の有無 ②自由に利用できる自動車の有無 ③運転を継続したい年齢
問4	普段の移動の状況 (1) ゆうあいステーション (2) いきいきセンター (3) 日常の買い物 (4) 通院 (5) 公共施設 (6) その他	①目的地の施設名・店舗名 ②目的地への外出頻度 ③出発時間帯 ④目的地までの主な交通手段 ⑤帰宅時間帯 ⑥帰宅時の主な交通手段
問5	コミュニティバスの利用状況	①最寄りバス停までの徒歩時間 ②最寄りバス停名 ③利用頻度 ④主な移動目的 ⑤目的地の施設名・店舗名 ⑥乗降バス停、利用ルート（利用系統） ⑦降車後の乗り継ぎ ⑧主な利用時間帯 ⑨帰宅時の移動手段 ⑩コミュニティバスを利用しない理由
問6	コミュニティバスのサービス向上について	①サービス改善策の意向 ②サービス改善後に訪問したい場所 ③サービス改善後の利用回数 ④利用回数が増えない理由
問7	コミュニティバスの維持について	①市の費用負担について ②ミニバスルートの運行サービス縮小に対する意向
問8	自由記述	—

2. 調査結果

- 配布地域別の回答結果は、「中央部3」が294件で12.0%と最も多く、次いで「北部1」が285件で11.6%、さらに「中央部1」が270件で11.0%と続いている。逆に比率の最も少ないものは「山麓部4」の51件であり、2.1%となっている。

追加① 地区分類

		(件)	(%)	
1.	中央部1	270	11.0	
2.	中央部2	265	10.8	
3.	中央部3	294	12.0	
4.	南部1	168	6.8	
5.	南部2	254	10.3	
6.	北部1	285	11.6	
7.	北部2	201	8.2	
8.	山麓部1	208	8.5	
9.	山麓部2	264	10.7	
10.	山麓部3	196	8.0	
11.	山麓部4	51	2.1	
	不明・無回答	3	0.1	
	合計	2459	100.0	

※中央部1：西室、東室、柿本、笛堂、北花内

中央部2：新庄、葛木、辨之庄、北道穂、南道穂

中央部3：疋田、尺土、八川、大畑

南部1：薑、新村、新町、南新町

南部2：忍海、南花内、西辻、林堂、脇田

北部1：南今市、長尾、木戸

北部2：當麻、勝根、今在家

山麓部1：染野、新在家、加守

山麓部2：太田、兵家、竹内

山麓部3：南藤井、大屋、寺口、中戸

山麓部4：山田、平岡、山口、梅室、笛吹

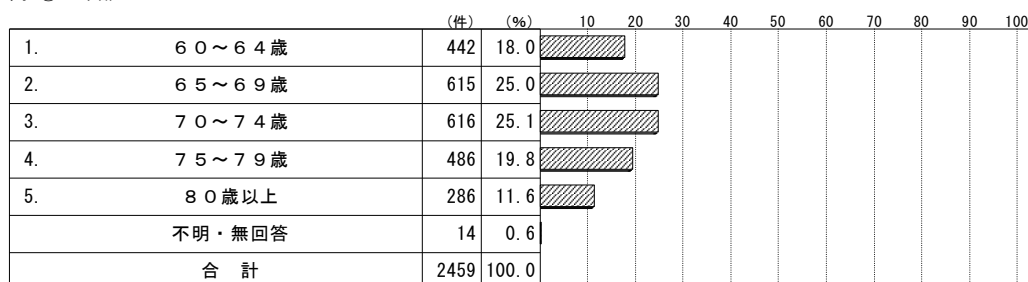
2.1. 単純集計結果

問1 回答者の属性

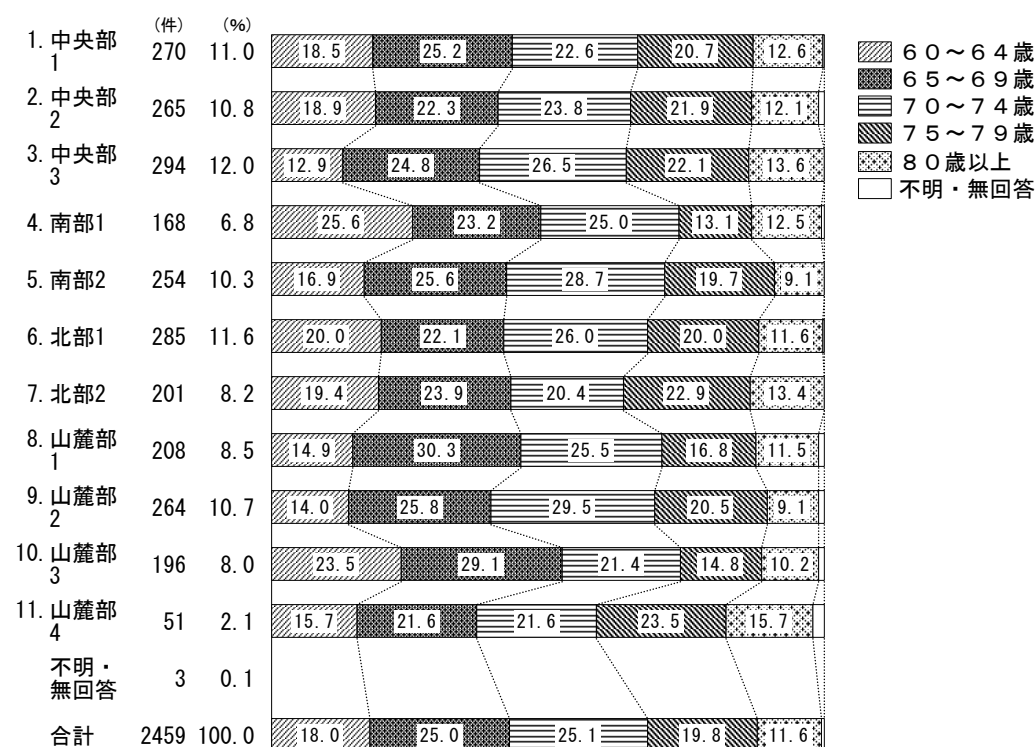
問1②年齢

- ・ 「70～74歳」が616件で25.1%と最も多く、次いで「65～69歳」が615件で25.0%、さらに「75～79歳」が486件で19.8%と続いている。逆に比率の最も少ないものは「80歳以上」の286件であり11.6%となっている。

問1② 年齢



追加① 地区分類 × 問1② 年齢

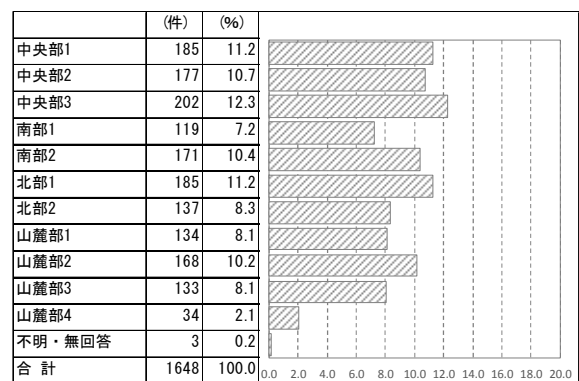
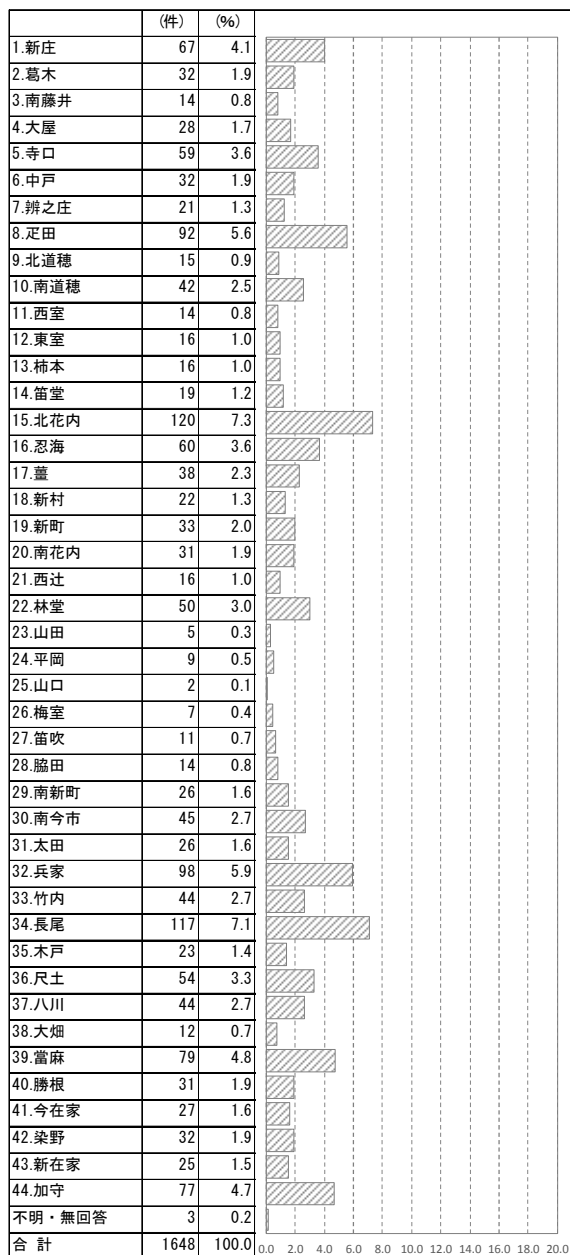


問2 回答者のお住まい・世帯

※世帯での集計 (n=1,648)

問2①お住まい

- ・ 大字別では、「北花内」が120件で7.3%と最も多く、次いで「長尾」が117件で7.1%、さらに「兵家」が98件で5.9%と続いている。逆に比率の最も少ないものは「山口」の2件であり0.1%となっている。
- ・ 配布地域別では、「中央部3」が202件で12.3%と最も多く、次いで「中央部1」と「北部1」が185件で11.2%と続いている。逆に比率の最も少ないものは「山麓部4」の34件であり2.1%となっている。

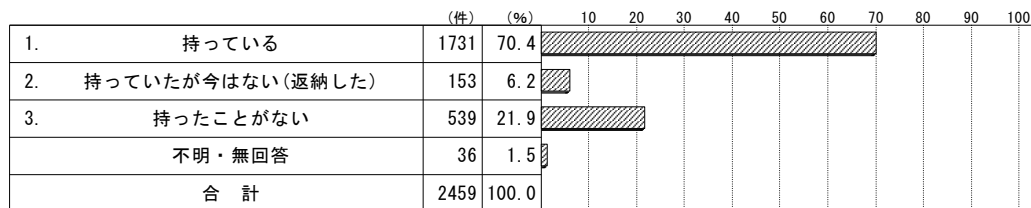


問3 回答者の自動車の運転

問3(1) 自動車運転免許証の保有

- ・ 「持っている」が1731件で70.4%と最も多く、次いで「持ったことがない」が539件で21.9%、「持っていたが今はない(返納した)」が153件で6.2%と続いている。

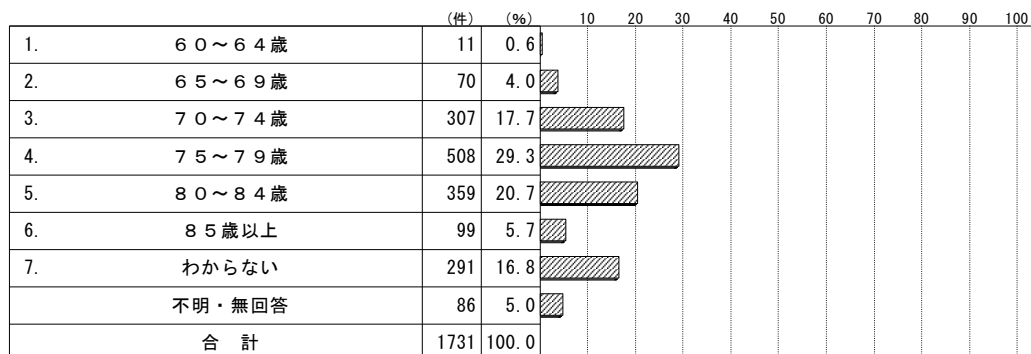
問3(1) 自動車運転免許証の有無



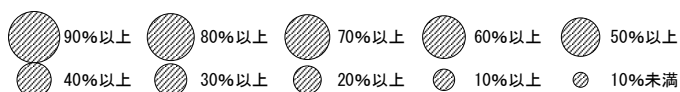
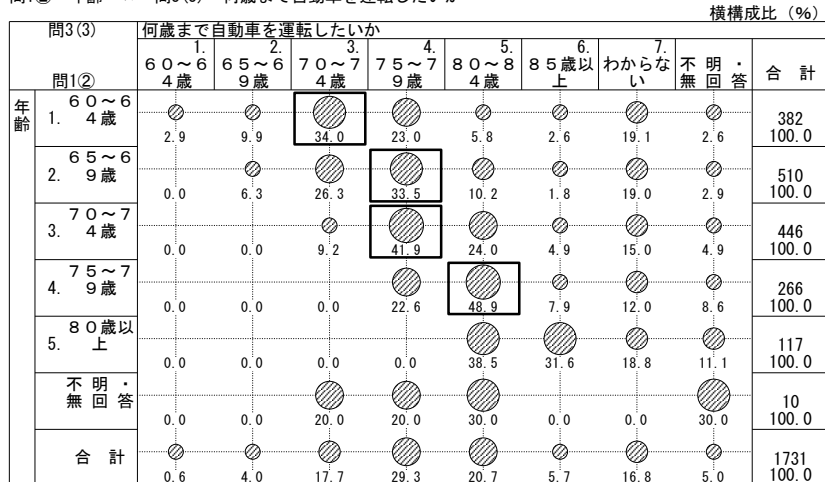
問3(3) 運転したい年齢

- ・ 「75～79歳」が508件で29.3%と最も多く、次いで「80～84歳」が359件で20.7%、「70～74歳」が307件で17.7%と続いている。
- ・ 60歳代は自分の年齢よりも10歳ほど先を想定しており、70歳代は自分の年齢よりも5歳ほど先を想定して回答している方が多い。

問3(3) 何歳まで自動車を運転したいか



問1② 年齢 × 問3(3) 何歳まで自動車を運転したいか



問4 普段の移動の状況

<ゆうあいステーションへの移動>

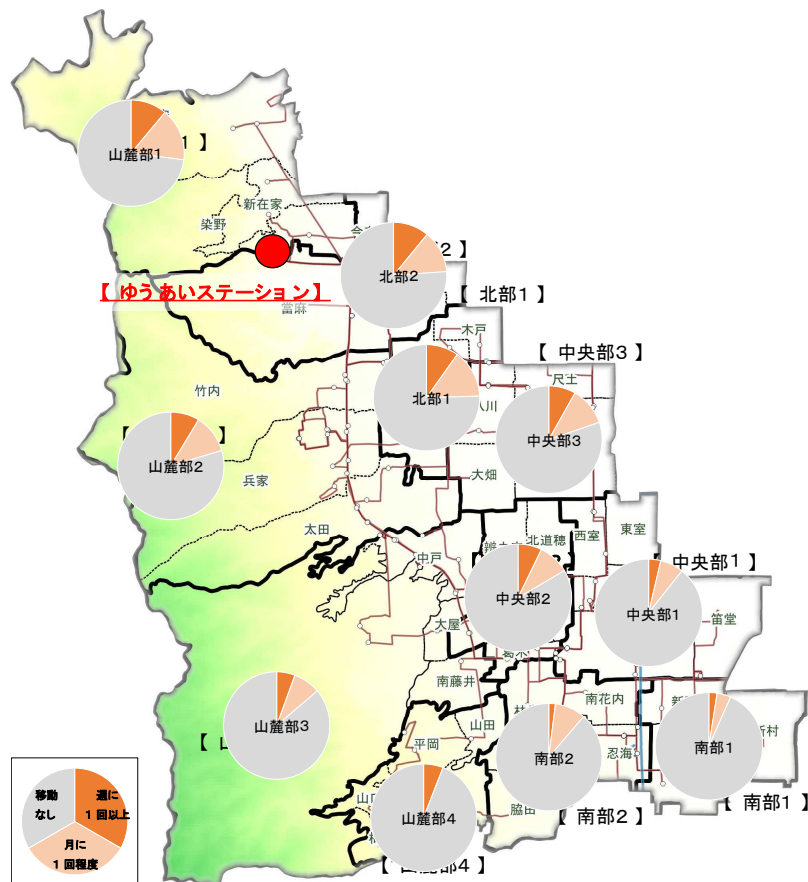
問4(1. ゆうあい)①外出頻度

- 「この場所には、ほとんど移動していない」が1733件で70.5%と最も多く、次いで「月に1～2日程度」が257件で10.5%、さらに「週に1～2日程度」が113件で4.6%と続いている。

問4(1)① 【ゆうあいステーション】外出頻度

	(件)	(%)	
1. ほぼ毎日	30	1.2	
2. 週に3～4日程度	29	1.2	
3. 週に1～2日程度	113	4.6	
4. 月に1～2日程度	257	10.5	
5. この場所には、ほとんど移動していない	1733	70.5	
不明・無回答	297	12.1	
合計	2459	100.0	

- 地区別にみると、旧當麻町の地区からの利用が多い傾向にある。

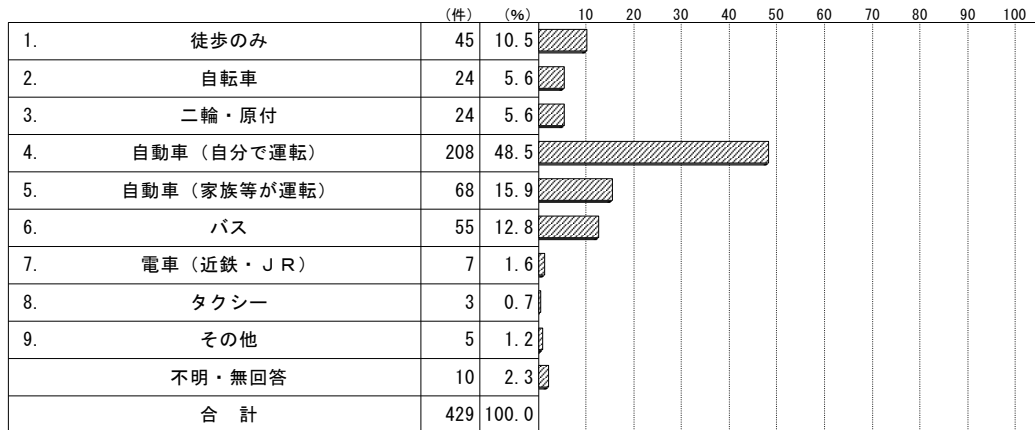


地区別外出頻度

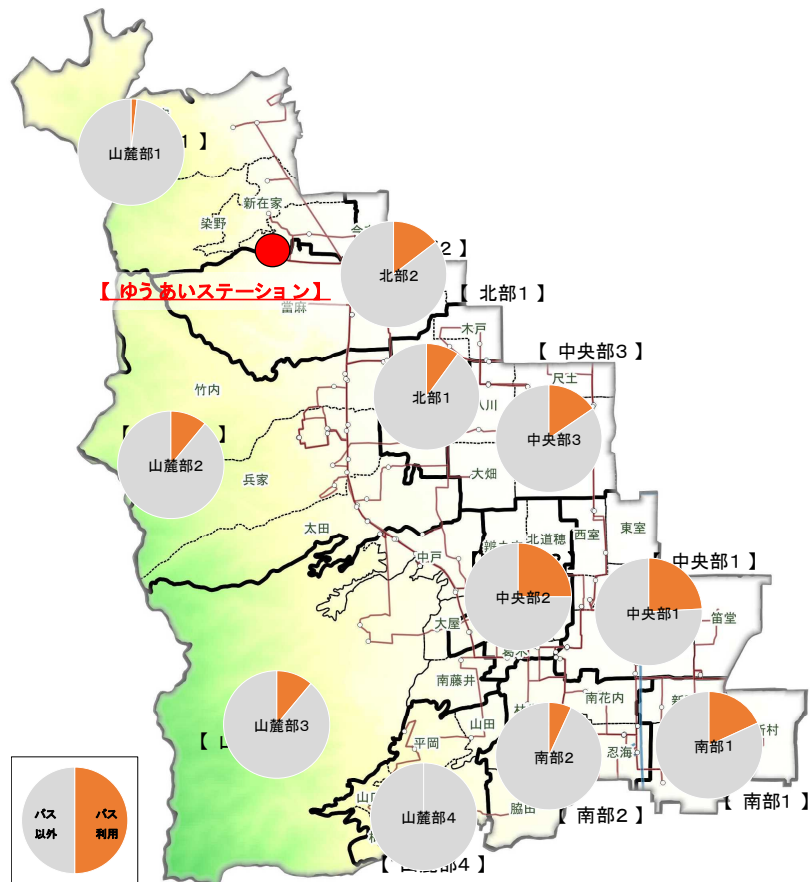
問4(1. ゆうあい)③目的地までの交通手段(複数回答)

- ・ 「自動車(自分で運転)」が208件で48.5%と最も多く、次いで「自動車(家族等が運転)」が68件で15.9%、「バス」が55件で12.8%と続いている。
- ・ その他の回答は、「デイサービスの車での送迎」である。

問4(1)③ 【ゆうあいステーション】目的地までの交通手段



- ・ 地区別にみると、中央部の地区からのバス利用が多い傾向にある。



地区別交通手段割合

＜いきいきセンターへの移動＞

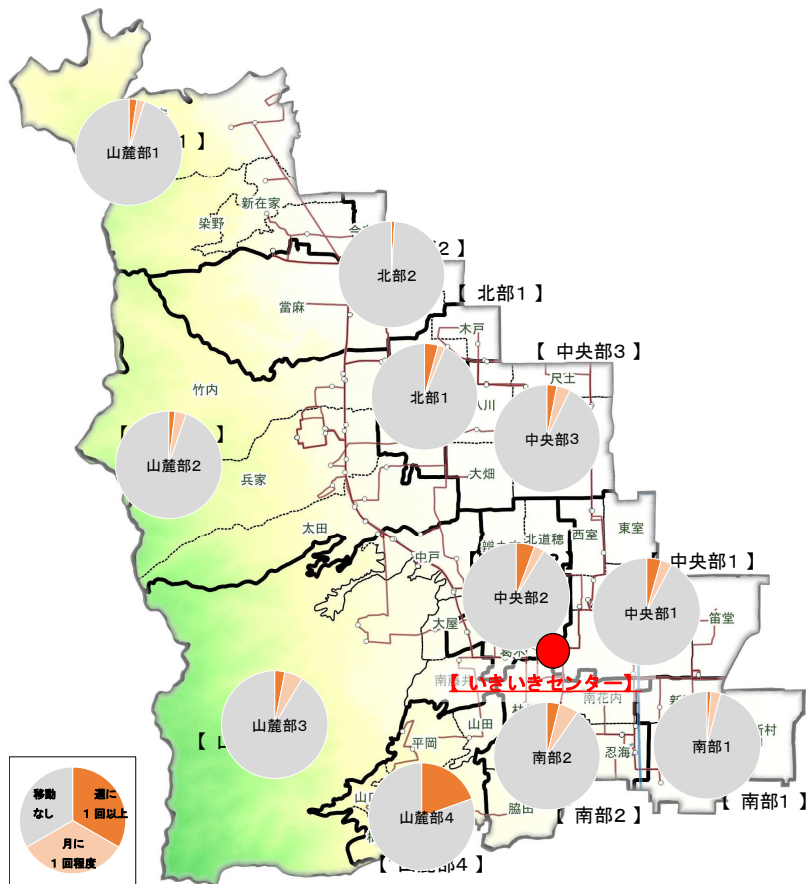
問4 (2. いきいき)①外出頻度

- 「この場所には、ほとんど移動していない」が1884件で76.6%と最も多く、次いで「月に1～2日程度」が90件で3.7%、さらに「週に1～2日程度」が46件で1.9%と続いている。

問4(2)① 【いきいきセンター】外出頻度

	(件)	(%)	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
1. ほぼ毎日	16	0.7										
2. 週に3～4日程度	16	0.7										
3. 週に1～2日程度	46	1.9										
4. 月に1～2日程度	90	3.7										
5. この場所には、ほとんど移動していない	1884	76.6										
不明・無回答	407	16.6										
合計	2459	100.0										

- 地区別にみると、旧新庄町の地区からの利用（特に、山麓部4）が多い傾向にある。



地区別外出頻度

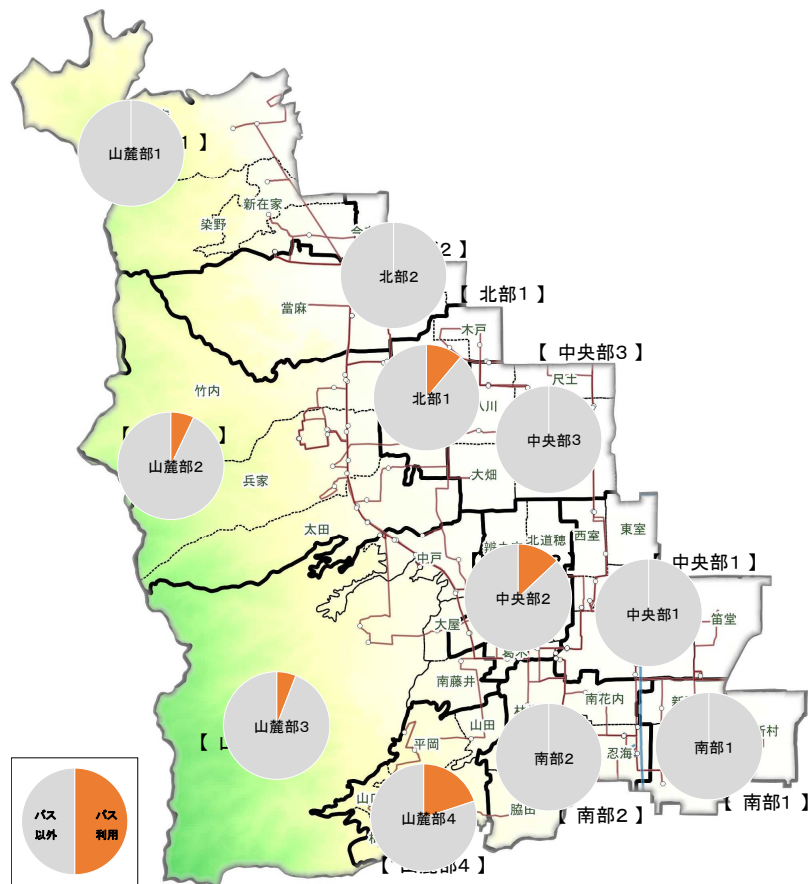
問4(2.いきいき)③目的地までの交通手段(複数回答)

- 「自動車(自分で運転)」が77件で45.8%と最も多く、次いで「自転車」が29件で17.3%、「自動車(家族等が運転)」が21件で12.5%と続いている。

問4(2)③ 【いきいきセンター】目的地までの交通手段

	(件)	(%)	
1. 徒歩のみ	17	10.1	
2. 自転車	29	17.3	
3. 二輪・原付	14	8.3	
4. 自動車(自分で運転)	77	45.8	
5. 自動車(家族等が運転)	21	12.5	
6. バス	9	5.4	
7. 電車(近鉄・JR)	2	1.2	
8. タクシー	3	1.8	
9. その他	1	0.6	
不明・無回答	7	4.2	
合計	168	100.0	

- 地区別に見ると、北部1、中央部2、山麓部4の地区からのバス利用が多い傾向にある。



地区別交通手段割合